

## 第5・6学年道徳学習指導案

日 時 平成27年10月8日(木) 5校時

対 象 男子4名 女子3名 計7名

指導者 多 田 滋

- 1 主 題 名 自他の生命を尊重して〈内容項目3－(1)生命の尊重〉  
資 料 名 「その思いを受けついで」(出典 私たちの道徳5・6年)

### 2 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

学習指導要領の道徳の内容 第5学年及び第6学年の3「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」の(1)に「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する」と示されている。

この段階においては、児童は生命の誕生から死に至るまでの過程を理解することができる。また、様々な人々との支え合いの中で一人一人の生命が育まれていることが分かる。さらに、生命が祖先から自分そして子孫へと受け継がれていくことをより深く理解するようになる。それらを通して、生命のかけがえのなさを自覚できるようにすることが重要である。人間の誕生の喜びや死の重さ、生きることの尊さ、共に生きることのすばらしさなどを考えることから、自他の生命を尊重し力強く生き抜こうとする心を育てるとともに、生命に対する畏敬の念を育てることが大切であると考えられる。

本校では、高学年における道徳教育の重点の1つに「生命尊重」を位置づけている。今後も鶯鳴荘との交流を続け、道徳的実践につなげていきたいと考える。

#### (2) 児童について

5・6年生の児童は、人の生命については「大切なもの」「かけがえのないもの」などと言葉ではある程度理解しているが、自分の身に引き寄せて深く考えるという経験は少ない。生命についての事前アンケートでは、5年生は「かけがえのないもの」「親からいただいた大切なもの」と考えている。6年生は「かけがえのないもの」「動植物やほかの人々の生命も大切である」と答えている。両学年とも「かけがえのないもの」「自分の命を大切にすること」ととらえているので、他人の生命も同様に大切であることや、祖先から受け継がれてつながっていることなど生命を多面的にとらえさせながら尊重していく態度を養っていきたい。

#### (3) 資料について

本資料は、祖父の最期を看取る大地の思いや、家族の愛情を通して生命の有限性や尊さを感じ取ることでできる資料である。毎日祖父の見舞いに行き少しでも元気付けようとする大地の思いを丁寧に考えさせていきたい。また、祖父の大地への思いをはじめ、家族の愛情やつながりを考えることで、生命のつながりについても考えることができると思われる。生命の有限性、連続性に着目させながら、自他の生命を尊重する態度を育むことができる資料である。

(4) 指導にあたって

本時は、生命の尊重をねらいとする授業の2回目である。(1回目は9/30に実施)

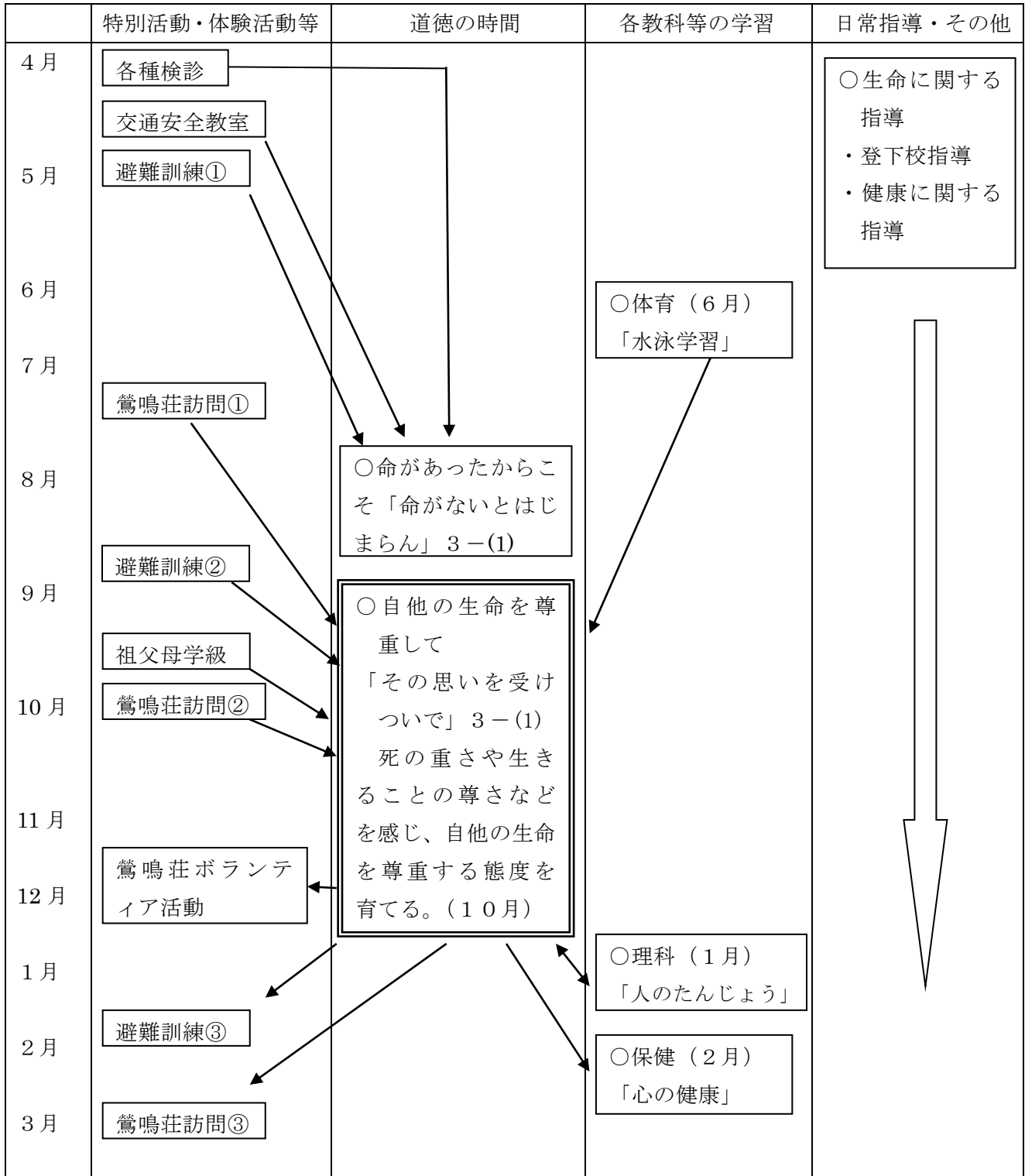
「導入」では、生命について考えたことを紹介し、生命に関心を向けさせる。

「展開前段」では、余命3か月のじいちゃんのところに通う大地の気持ちを考えさせる。

「展開後段」では、詩を紹介して生命の尊さやつながりについて考えさせる。

「終末」では、1回目と今回の学習を振り返り、感じたことや考えたことを書かせる。

3 本時を「要」として位置づけた指導構想図



#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

死の重さや生きることの尊さなどを感じ、自他の生命を尊重する態度を育てる。

##### (2) 展開

段階	学習内容と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入 5 分	<p>1 前時の想起をする。 ○前の時間はどんな学習をしましたか。</p> <p>2 身近にある「生命」について考える。 ○鶯鳴荘にいるおじいさん・おばあさんの家族は、どんな思いでいるでしょう。 ・今日は、限りある命についてみんなで考えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の学習。</li> <li>・命を大切にする。</li> <li>・いつまでも元気でいて。</li> <li>・長生きしてほしい。</li> <li>・生命は限りがある。</li> <li>・誰でもいつかは死んでしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時では生命の大切さ・尊さについて学習したことを確認する。</li> <li>・児童が共通に体験している鶯鳴荘訪問から、生命について考えさせる。</li> </ul>
展 開 前 段 25 分	<p>3 「その思いを受けついで」を読んで話し合う。 ・どんなお話でしたか。</p> <p>○じいちゃんの命があと3か月と知らされた大地は、どのようなことを考えたでしょう。</p> <p>○毎日じいちゃんの所に通う大地は、じいちゃんとの残された日々をどのような気持ちで過ごしていたのでしょうか。</p> <p>・この前の祖父母学級や鶯鳴荘訪問のふれ合い活動で握手をしました。どんな感じでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おじいちゃんが死んでしまう。</li> <li>・命が受けつがれる。</li> <li>・信じられない。</li> <li>・死んでしまうなんて悲しい。</li> <li>・死なないで。</li> <li>・少しでも長生きしてほしい。</li> <li>・ぼくが元気になれば、よくなってくれる。</li> <li>・あたたかかった。</li> <li>・手のぬくもりを感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母の深刻な話で、大地の頭の中が混乱している様子をとらえさせる。</li> <li>・毎日祖父の見舞いに行っただけで少しでも元気づきようとする大地の思いに共感させる。</li> <li>・自分が経験したことを生かし、大地の気持ちを考えるきっかけにしていきたい。</li> </ul>

	<p>◎じいちゃんが弱いながらもぼくの手をにぎり返してくれたとき、大地はどんなことを感じたでしょう。</p> <p>○残された手紙を読んで、大地はどのようなことを考えたでしょう。「じいちゃん・・・」に続く言葉を考えて書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じいちゃんにたのまれた。</li> <li>・たくされた。</li> <li>・たのんだぞ、大地。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じいちゃんの方まで精一杯生きていこう。</li> <li>・じいちゃん、今までありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じいちゃんから受け継いだ命を大切にしていこうとする大地の思いをとらえさせる。</li> <li>・「じいちゃん・・・」に続く言葉をワークシートに書かせる。</li> <li>・書いたものを隣同士で交流させる。</li> </ul>
展開後段 5分	<p>4 「生命」のつながりについて考える。</p> <p>○相田みつをさんの詩「命のバトン」を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命はつながっている。</li> <li>・生命は引き継がれていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩を読み、生命のつながりについて感得させる。</li> </ul>
終末 10分	<p>5 2時間の学習で学んだことを振り返る。</p> <p>○「生命」について2時間考えてきましたが、生命のつながりを感じたことはありますか。</p> <p>○鶯鳴荘訪問や家のおじいさん・おばあさんにこれからどのように接していきたいですか。</p> <p>・今日家に帰ったら、おじいさん・おばあさんに何と声をかけたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おじいちゃんが亡くなった。</li> <li>・親戚に赤ちゃんが産まれた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おじいさん・おばあさんのために何かしてあげたい。</li> <li>・手伝いをしてあげたい。</li> <li>・おじいさん・おばあさんから受けついで生命を大切にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経験を振り返り、生命のつながりについて感じたこと書いて発表させる。</li> <li>・生命のつながりについて考えたことを、これからどのように活かしていきたいかを発表させる。</li> </ul>

5 資料分析 (別紙)

6 板書計画 (別紙)

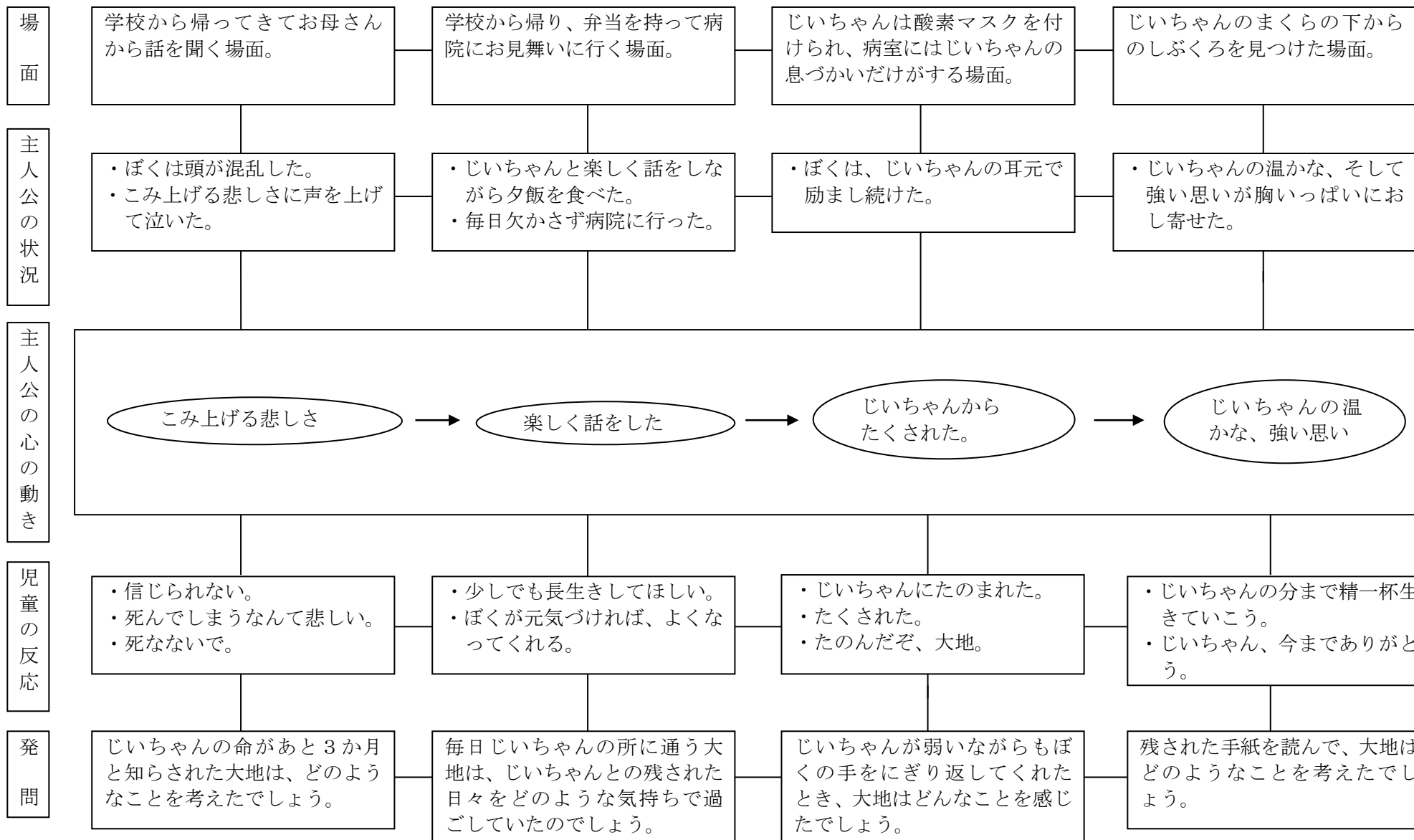
段階	学習内容と発問	児童の反応
導 入  5 分	1 前時を想起する。 ・前の時間はどんな学習をしましたか。  2 身近にある「生命」について考える。 ○鶯鳴荘にいるおじいさん・おばあさんの家族は、 どんな思いでいるでしょう。 (鶯鳴荘訪問の写真を見せながら)  ・元気で長生きしてほしいという願いはいつまでも 続きません。命は限りがあるのです。今日は、限 りある命についてみんなで考えていきましょう。	・命の大切さ。 ・命の重さ。  ・いつまでも元気でいて。 ・長生きしてほしい。 ・生命は限りがある。
展  開  前  段     25 分	3 「その思いを受けついで」を読んで話し合う。 (資料を読む) ・どんなお話でしたか。  ・学校から帰ったぼくは、お母さんに呼ばれてどん な話をされましたか。  ○じいちゃんの命があと3か月と知らされた大地 は、どのようなことを考えたでしょう。  ・命があと3か月と知った大地は、それからどうし ましたか。  ○毎日じいちゃんの所に通う大地は、じいちゃん との残された日々をどのような気持ちで過ごして いたのでしょうか。  ・大地は毎日通いましたが、おじいちゃんはどうな っていきましたか。  ・この前の祖父母学級と鶯鳴荘訪問でおじいさん・ おばあさんとふれ合い活動を行いました。握手を してどんな感じがしましたか。	・おじいちゃんが死んでしまう話。 ・命を受けつがれる。  ・おじいちゃんの命があと3か月だ という事。  ・信じられない。 ・死んでしまうなんて悲しい。  ・毎日おじいちゃんの所へ通った。  ・少しでも長生きしてほしい。 ・ぼくが元気になれば、よくなってく れる。  ・食事も話もできなくなった。 ・食事が点滴になった。  ・あたたかかった。 ・手のぬくもりを感じた。 ・ごっごっしていた。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしなくても伝わってくるものはありましたか。</li> </ul> <p>◎じいちゃんが弱いながらもぼくの手をにぎり返してくれたとき、大地はどんなことを感じたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その後、おじいちゃんはどうなりましたか。</li> <li>・おじいちゃんの枕の下に何がありましたか。</li> </ul> <p>○残された手紙を読んで、大地はどのようなことを考えたでしょう。「じいちゃん・・・」に続く言葉を考えて書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あった。</li> <li>・何か感じた。</li> <li>・じいちゃんにたのまれた。</li> <li>・たくされた。</li> <li>・たのんだぞ、大地。</li> <li>・受けついで。</li> <li>・天国に旅立った。</li> <li>・しわくちやののしぶくろ</li> <li>・手紙</li> <li>・じいちゃんの方まで精一杯生きていこう。</li> <li>・じいちゃん、今までありがとう。</li> </ul>
展開後 5分	<p>4 「生命」のつながりについて考える。</p> <p>○相田みつをさんの詩「命のバトン」を紹介します。(詩を読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを感じましたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命はつながっている。</li> <li>・生命は引き継がれていく。</li> </ul>
終末 10分	<p>5 2時間の学習で学んだことを振り返る。</p> <p>○「生命」について2時間考えてきましたが、生命のつながりを感じたことはありますか。</p> <p>○鶯鳴荘訪問や家のおじいさん・おばあさんにこれからどのように接していきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日家に帰ったら、おじいさん・おばあさんに何と声をかけたいですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おじいちゃんが亡くなった。</li> <li>・親戚に赤ちゃんが産まれた。</li> <li>・おじいさん・おばあさんのために何かしてあげたい。</li> <li>・手伝いをしてあげようと思いました。</li> <li>・おじいさん・おばあさんから受けついで生命を大切にしたい。</li> </ul>

5 資料分析

資料名 「その思いを受けついで」  
(出典 私たちの道徳 5・6年)

[ねらい] 死の重さや生きることの尊さなどを感じ、自他の生命を尊重する態度を育てる。



その思いを受けついで

挿絵①

- 残り三か月のじいちゃんの命
- ・信じられない。
  - ・死んでしまうなんて悲しい。
  - ・死なないで。

挿絵②

- 毎日じいちゃんの所に通う大地
- ・少しでも長生きしてほしい。
  - ・ぼくが元気づければ、よくなってくれる。

挿絵③

- 弱いながらもにぎり返してくれた
- ・じいちゃんにたのまれた。
  - ・たくされた。
  - ・たのんだぞ、大地。

挿絵④

- 残された手紙
- ・じいちゃん分まで精一杯生きていこう。
  - ・じいちゃん、今までありがとう。

生命のつながり